

★ 第 21 回知覧ねぶた祭 熱く開催 ～雨の中でもたくさんの観客で盛大に～

7月16日、知覧まち商店街で第21回知覧ねぶた祭が開催されました。ときおり雨が降ったため翌日へ順延かと心配されましたが、予定どおり決行。迫力あるねぶたが街を練り歩き、知覧の夜を色鮮やかに照らしました。また、笛・太鼓・すり鐘隊や踊り連も元気よくねぶた運行に華を添えていました。観客も傘をさしながらでしたが、子どもから大人まで多くの方が知覧の夏の風物詩を楽しみました。



▲南九州市と交流都市である青森県平川市からも女子囃子組の14人が駆けつけ、すばらしい音色を響かせました。



★ 薩摩の水からくり ～豊玉姫神社の六月灯～

7月9、10日、豊玉姫神社（知覧町）で毎年恒例の薩摩の水からくりがありました。今年は「天の岩戸」を演目に、天照大神が隠れていた天岩戸を手力男の命が押し開き天界と地上界が元のように明るくなるという様子などを上演。本物のような岩、新調した衣装など、全て手作りです。当日は雨にもかかわらず多くの方が見物に来られ、細かく動くからくり人形に見入っていました。



▲舞台上では、一つの水車の動力で歯車やさまざまな大きさの重りが止めどなく動き、舞台上にいる約20体もの人形に動きを伝えます。

▼事例発表をした熊本県立北稜高校田んぼアート同好会の生徒ら。発足4年目ですが、田んぼアート米を使った商品開発など若い力に期待がよせられます。



★ 田んぼアートで全国ネットワーク ～全国田んぼアートサミット in 南九州市～

8月4日、川辺文化会館で全国田んぼアートサミット in 南九州市が開催され、全国の田んぼアート関係者20団体101人、地元関係者など300人が参加しました。先進地田舎館村の基調講演や熊本県立北稜高校の事例発表、「田んぼアートの魅力と可能性」をテーマにパネルディスカッションが行われました。最後に、田んぼアートを通じて全国でネットワークを広げ、国内だけでなく海外まで発展させていくことを意思統一しました。

県代表として九州大会へ ～川辺野球スポーツ少年団～

県スポーツ少年団競技別交歓大会軟式野球の部が7月2、3日に鹿児島市で開催され、地区予選を勝ち抜いた15チームが試合を行い、川辺野球スポーツ少年団が見事準優勝。九州大会への出場が決定しました。主将



▲3～6年生の団員25人で、立石朋大監督、冷水健作コーチ、原健仁コーチの指導のもと日々練習に取り組んでいます。

の宇都大貴くんは「県大会では自分たちらしい攻める野球ができた。九州大会では最後まで諦めない全員野球で戦いたい」と話しました。

県地方青少年なぎなた錬成大会 ～武道技術者の基礎を学ぶ～

7月2、3日、県地方青少年なぎなた錬成大会が知覧体育館で開催されました。この大会は武道競技者の基本的な知識や技術を学ぶとともに心身の鍛錬を目的として全国各地で開催されています。参加者43人は



▲講師として砂川邦子 範士、徳地昌代 教士、村松陽子 錬士、丸野陽子 四段の4人の方に指導していただきました。

積極的に指導を仰ぎ、講師はなぎなたにおける精神のありようと持てる技術の全てを注ぎ指導し、熱気あふれる2日間となりました。

セカンドブック 始めました ～5歳児に絵本をプレゼント～

市立図書館では5歳児の子どもに絵本をプレゼントする“セカンドブック事業”を始めました。これは生後3カ月の赤ちゃんに絵本を手渡し子育てを応援する“ブックスタート”に続く絵本のプレゼントです。本が大好き



▲プレゼントされた「おとぎれっしゃしゅっぱつしんこう!」を楽しそうに読む子どもたち。対象の子どもには、引換券を送付します。

な坂元建太くんと一緒に絵本をもらいに来られたお父さんは、お礼と「素晴らしい取り組み。長く続けてほしい」と話しました。

若い経営者の主張大会 県大会優勝 ～(有)六葉煙火の古閑潔さん～

7月2日、「若い経営者の主張」大会県大会に、商工会青年部南薩地区代表で古閑潔さんが出場しました。花火を製造する(有)六葉煙火で働く古閑さんが思う花火と開催地種子島とのつながりを題材に10分間の



▲左から古閑さんと市商工会青年部長の折田和久さん。折田さんは部員を増やす活動の功績が認められ、人づくり部門で表彰されました。

発表をし、見事優勝。九州大会への切符を手に入れました。古閑さんは「みんなのおかげ。九州大会もがんばります」と話しました。

貯筋運動を推進していきます ～指導者育成講習会を開催～

貯筋運動は、たった5種目の運動で高齢者でも簡単にできます。また、歌に合わせて楽しく筋肉が貯め続けられる運動です。講習会では鹿屋体育大学より講師を招き、参加者58人が貯筋運動の効果などを学び



▲1日目は講話を聞いて貯筋運動の効果、2日目は実技講習で5種目ある運動の動きなどを学びました。

ました。参加者は「手軽にできるのでまずは自分から。市全体に普及して元気な老後をご提供していただきたい」と話しました。

市ツーリズム協議会 発足 ～修学旅行生の体験型民泊をお手伝い～

7月7日、「南九州市ツーリズム協議会」(会員36人、宮崎富江会長)の設立総会が開催されました。この協議会は、県外からの修学旅行生を家族として受け入れ、農林漁業体験や地域の人々との交流



▲総会では事業計画のほか受入家庭の統一ルールなどが決められました。興味がある方は市商工観光課までご連絡ください。

などを体験してもらうことで、次世代を担う子どもたちの健全育成や元気な地域づくりを目的に設立されたものです。

法務大臣から人権擁護委員を委嘱 ～浮邊 泰祐 さん、鶴田 京子 さん～

人権擁護委員に浮邊泰祐さんと鶴田京子さんが委嘱されました。浮邊さんは「人権は人間らしくあるための基本的な権利。社会で声を上げられず悩みを抱えている方は多く、人権相談などを通じ少しでも



▲法務大臣からの委嘱状をしっかりと手にとる浮邊さん（右）と鶴田さん（左）。地域の皆さんの人権を守るため活動していきます。

解決の手助けができれば」と抱負を語られました。市では9人の人権擁護委員が人権相談や人権思想の啓発活動などを行っています。

南薩地域ニューファーマーの集い ～関係者が新規就農者を激励～

7月12日、新規就農者励ましの会が開催され、1組の夫婦と8人の新規就農者が会に参加しました。塗木市長は「若い農業者の就農は心強く、地域の期待も大きいものがある。農業に対する大きな夢



▲南薩地域振興局など関係機関が出席。今年度は茶・甘藷・野菜・肉用牛・酪農などを生産する14人が新たに就農しました。

と誇りを持って多様化する消費者ニーズに対応し、柔軟な発想や創意工夫のもと農業経営に取り組んでほしい」と話しました。

全国市区選挙管理委員会連合会 表彰 ～石本 健一 さん、大迫 茂子 さん～

7月7日、全国市区選管連表彰の伝達式が行われ、石本健一委員長職務代理、大迫茂子委員へ伝達されました。今回の表彰は、7年以上選挙管理委員の職を務め、選挙の管理執行および啓発活動の功績が顕著であったことが認め



▲塗木弘幸市長から石本委員長職務代理（中央）、大迫委員（左）へ表彰状が手渡されました。

られたものです。お二人は「今後も選挙が公正となるよう常に心掛けて職務を行いたい」と話しました。

地域の畜産業に貢献 ～農事組合法人 南薩アグリサポート～

頰娃の酪農家4戸が家畜に与える粗飼料の作付けと収穫を行う受託組織を4月に設立しました。組合員は「地域の畜産農家が減少するなか、飼料価格の高止まりなど畜産業を取り巻く情勢は厳しい状況が続い



▲大型機械を使って効率的に飼料用トウモロコシを収穫するなど、4酪農家が協力し合って作業しています。

ている。生産コストに大きな割合を占める飼料費などの低減を図ることで畜産農家の経営向上に貢献したい」と話しました。

市鳥獣被害対策実施隊を拡充 ～民間隊員に辞令交付～

7月4日、市鳥獣被害対策実施隊への民間隊員加入による辞令交付式が行われました。民間隊員は、猟銃免許を持ち、被害の発生など緊急時の出動要請に即時対応できるため、有害鳥獣捕獲や追い払いな



▲市猟友会の頰娃・知覧・川辺支部から43人（頰娃13人・知覧13人・川辺17人）が選抜されました。

どの活動を迅速に行うことができます。近年増加している有害鳥獣による農作物などへの被害軽減・防止が期待されます。

環境衛生改善功労者を受賞 ～南部 貞子 さん（川辺町）～

7月7日、鹿児島県衛生自治団体連合会総会で南部貞子さんが環境衛生改善功労者として表彰されました。南部さんは、旧川辺町より衛生自治団体連合会の役員を務め、合併後の南九州市においても、ごみ減量化のた



▲受賞した南部貞子さん。「これからも地域の皆さんの環境意識の向上に努めていきたい」と話しました。

めの生ごみ処理容器の普及啓発活動やごみ収集所の整備など地域の環境美化に長年にわたり大きく貢献した功績が認められました。